



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年1月31日

上場会社名 株式会社一蔵 上場取引所 東
 コード番号 6186 URL http://www.ichikura.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河端 義彦
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画室長 (氏名) 渡邊 正樹 TEL 03-5288-7111 (代表)
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	12,545	7.9	1,103	△7.9	1,127	△7.3	734	△7.1
29年3月期第3四半期	11,632	—	1,199	—	1,216	—	790	—

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 750百万円 (△6.6%) 29年3月期第3四半期 803百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	135.47	—
29年3月期第3四半期	144.37	—

(注) 平成29年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成29年3月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	17,059	6,012	35.2	1,115.80
29年3月期	15,482	5,584	36.1	1,019.58

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 6,012百万円 29年3月期 5,584百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	41.00	41.00
30年3月期	—	0.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	37.00	37.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

平成29年3月期期末配当金の内訳 普通配当 36円00銭 東京証券取引所市場第一部指定記念配当 5円00銭

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,300	5.2	732	△29.3	758	△33.4	522	△31.3	96.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
 新規 1社 （社名）CANZHEN (SHANGHAI) WEDDING SERVICES CO., LTD.、除外 1社 （社名）
 （注）詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期3Q	5,496,283株	29年3月期	5,477,300株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	107,400株	29年3月期	1株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期3Q	5,424,117株	29年3月期3Q	5,477,300株

（注）自己株式については、当第3四半期連結会計期間末に一蔵従業員持株会専用信託が保有する当社株式を含めて記載しております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

当社は、平成30年2月2日（金）に四半期決算補足説明資料をT D n e t へ開示後、当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（平成29年4月1日～平成29年12月31日）におけるわが国経済は、企業業績や雇用環境の改善などを背景に緩やかな回復基調を維持しておりますが、個人消費については可処分所得の伸び悩みや低価格志向・節約志向などが依然として根強く先行き不透明な状況で推移いたしました。

(和装事業)

呉服業界におきましては、産地工房の職人など作り手の高齢化や消費者のライフサイクルの変化などの影響により市場の縮小傾向が続いておりましたが、昨今、振袖を中心としたレンタル需要や着方教室をきっかけに呉服販売等が盛んになりつつあること、以前は資産として高価な着物を所有し特別な機会にのみ着用することが多い傾向にありましたがファッションとして“着て”楽しむ消費者層が増加（「所有」から「使用」へと変化）するなどの兆しが見られること、また、経済産業省が国内和装産業の振興を図るため一般社団法人全国きもの振興会が定める「きもの日」（11月15日）に和服で執務を行う取り組みが行われるなど、引き続き大きな市場があると考えております。

このような環境下におきまして、当社グループは積極的な広告宣伝や当社グループ店内外における催事の開催により、振袖や一般呉服の販売、成人式の前撮り写真撮影などの受注獲得に努めてまいりました結果、当第3四半期連結累計期間の和装事業の売上高は8,499,947千円（前年同四半期比9.3%増）となり、セグメント利益は979,240千円（前年同四半期比8.8%増）となりました。

(ウエディング事業)

ウエディング業界におきましては、少子化により結婚適齢期を迎える人口が減少していることや未婚化などの影響により婚姻組数の減少傾向が続いている（厚生労働省「平成28年（2016）人口動態統計の年間推計」）一方、市場規模は1兆4千億円台をほぼ横ばいで推移（矢野経済研究所「ブライダル市場に関する調査結果2017」）しております。

このような環境下におきまして、当社グループは積極的な広告宣伝、広告やブライダルフェアのコンテンツの見直し、挙式・披露宴を演出する新サービスの提供などに努めてまいりましたが、施行組数が想定を下回ったうえ、施行単価を押し下げる少人数婚の施行組数の増加、及び平成29年8月5日リニューアルオープンの譲受式場「ネオス・ミラベル」に係る投資費用の発生等により、当第3四半期連結累計期間のウエディング事業の売上高は4,046,052千円（前年同四半期比4.9%増）となり、セグメント利益は720,234千円（前年同四半期比18.5%減）となりました。

(全社)

上記の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高12,545,999千円（前年同四半期比7.9%増）、営業利益1,103,790千円（前年同四半期比7.9%減）、経常利益1,127,914千円（前年同四半期比7.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益734,797千円（前年同四半期比7.1%減）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は17,059,398千円（前連結会計年度比10.2%増）となりました。

流動資産の残高は7,666,969千円（前連結会計年度比1.3%増）となりました。

固定資産の残高は9,392,429千円（前連結会計年度比18.7%増）となりました。これは主に建物及び構築物が1,270,128千円、土地が367,135千円増加した一方で、建設仮勘定が454,871千円減少したことによります。

負債につきましては11,046,486千円（前連結会計年度比11.6%増）となりました。

流動負債の残高は7,908,132千円（前連結会計年度比0.0%増）となりました。

固定負債の残高は3,138,354千円（前連結会計年度比57.5%増）となりました。これは主に長期借入金が増加した1,093,430千円増加したことによります。

純資産につきましては6,012,912千円（前連結会計年度比7.7%増）となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益734,797千円を計上した一方で、配当金を224,569千円支払ったこと、自己株式を118,985千円計上したことによります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績及び最近の動向を踏まえ、通期の業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日（平成30年1月31日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,609,938	3,632,711
売掛金	699,844	409,138
商品	1,455,492	1,802,628
レンタル商品	1,184,386	1,127,528
仕掛品	274,073	213,821
原材料及び貯蔵品	88,336	158,449
繰延税金資産	50,930	34,596
その他	204,416	288,095
流動資産合計	7,567,419	7,666,969
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,147,443	5,417,571
土地	993,412	1,360,548
建設仮勘定	580,683	125,811
その他(純額)	333,136	482,596
有形固定資産合計	6,054,676	7,386,528
無形固定資産		
ソフトウェア	102,265	94,223
のれん	105,310	86,726
その他	191,968	315,717
無形固定資産合計	399,544	496,666
投資その他の資産		
投資有価証券	248,788	271,926
出資金	100,178	100,178
敷金及び保証金	957,804	976,844
繰延税金資産	128,601	136,847
その他	24,998	23,437
投資その他の資産合計	1,460,370	1,509,233
固定資産合計	7,914,591	9,392,429
資産合計	15,482,010	17,059,398

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	730,157	659,348
短期借入金	2,100,000	2,270,000
1年内返済予定の長期借入金	408,987	603,459
未払金	437,944	531,832
未払費用	319,675	346,302
未払法人税等	285,403	182,686
前受金	3,525,216	3,207,803
預り金	24,773	30,897
賞与引当金	4,745	—
その他	67,479	75,802
流動負債合計	7,904,382	7,908,132
固定負債		
長期借入金	1,006,649	2,100,079
資産除去債務	250,213	284,752
退職給付に係る負債	352,748	373,836
役員退職慰労引当金	312,266	12,924
その他	71,223	366,761
固定負債合計	1,993,100	3,138,354
負債合計	9,897,482	11,046,486
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,002,201	1,012,699
資本剰余金	991,501	1,001,998
利益剰余金	3,567,680	4,077,908
自己株式	—	△118,985
株主資本合計	5,561,383	5,973,621
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	23,144	44,691
為替換算調整勘定	—	△5,400
その他の包括利益累計額合計	23,144	39,291
純資産合計	5,584,527	6,012,912
負債純資産合計	15,482,010	17,059,398

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	11,632,000	12,545,999
売上原価	4,293,592	4,655,695
売上総利益	7,338,407	7,890,304
販売費及び一般管理費	6,139,301	6,786,513
営業利益	1,199,106	1,103,790
営業外収益		
受取利息及び配当金	5,201	4,694
受取手数料	7,487	7,529
受取補償金	—	3,831
匿名組合投資利益	8,369	9,220
保険解約返戻金	5,544	—
その他	11,623	16,855
営業外収益合計	38,226	42,133
営業外費用		
支払利息	19,983	16,858
その他	738	1,151
営業外費用合計	20,722	18,009
経常利益	1,216,610	1,127,914
特別利益		
固定資産売却益	0	—
特別利益合計	0	—
特別損失		
固定資産除却損	3,281	6,006
特別損失合計	3,281	6,006
税金等調整前四半期純利益	1,213,329	1,121,908
法人税、住民税及び事業税	399,541	380,766
法人税等調整額	23,024	6,343
法人税等合計	422,566	387,110
四半期純利益	790,763	734,797
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	790,763	734,797

（四半期連結包括利益計算書）
（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日）
四半期純利益	790,763	734,797
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	12,912	21,546
為替換算調整勘定	—	△5,400
その他の包括利益合計	12,912	16,146
四半期包括利益	803,675	750,943
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	803,675	750,943
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）

当第3四半期連結会計期間において、璨臻（上海）婚慶礼儀服務有限公司（英訳名：CANZHEN（SHANGHAI） WEDDING SERVICES CO., LTD.）を設立したため、連結の範囲に含めております。

（セグメント情報）

Ⅰ 前第3四半期連結累計期間（自平成28年4月1日 至平成28年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	和装事業	ウエディング 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,774,396	3,857,604	11,632,000	—	11,632,000
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	7,774,396	3,857,604	11,632,000	—	11,632,000
セグメント利益	900,199	883,632	1,783,831	△584,725	1,199,106

（注）1. セグメント利益の調整額△584,725千円は本社管理費であります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自平成29年4月1日 至平成29年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	和装事業	ウエディング 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,499,947	4,046,052	12,545,999	—	12,545,999
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	8,499,947	4,046,052	12,545,999	—	12,545,999
セグメント利益	979,240	720,234	1,699,474	△595,683	1,103,790

（注）1. セグメント利益の調整額△595,683千円は本社管理費であります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。